

第2回ワークショップ「市役所や議会に望むこと～あなたならどうしますか」Eグループ発表

市長・職員のイメージ	議会のイメージ	市民にできること
<p>&lt;財政を良くした&gt; ・財政を良くしたのは市長の力・以前よりコストを考えるようになった ・予算が少ない中、市長は給料の削減など大館をふった</p> <p>&lt;市長の人物像&gt; ・頼りになる、リーダーシップ決断力がある・市長高齢 ・市長は市民から見ると遠い存在・小樽の顔として魅力が足りない</p> <p>&lt;組合に遠慮&gt; ・市長は職員組合へ遠慮している気がする・改革ができない、組合がつよい ・金が無く、アイデア不足、組合が足かせになっている</p> <p>&lt;多忙&gt; ・市長だけ忙しそう・市長は深く考える時間がない(ブレインがない)</p> <p>&lt;人数多すぎる&gt; ・職員が多すぎる・市長はワンマンなところがあるのでは? ・人数が多すぎる・職員が多すぎる</p> <p>&lt;意欲が少ない&gt; ・なんとなく頑張らない・要望事項があっても検討もせず予算がないといわれる ・ことなかれ主義・高齢の職員はインターネットを避けている気がする ・前例のないものに取り組み取り組む姿勢にとほしい ・細張り意識がつよい</p> <p>&lt;まじめ、公平、優秀&gt; ・公平な感じ・公務員っぽくない(良い意味で) ・市民に丁寧、親切である・市長、職員の不祥事がない(少ない?) ・まじめな職員も多い・頭がよくてエリートのような</p> <p>&lt;態度が悪い&gt; ・職員によって対応の良し悪しがある・職員が上から目線で話す ・職員の異動が多すぎる ・給料が多いと全国的に批判が多い</p>	<p>&lt;市民との距離が遠い&gt; ・具体的な仕事内容がわからない・市民への報告不足 ・地域のためになってない・一般市民と市議の関係が遠い</p> <p>&lt;選挙重視&gt; ・選挙のため出身地域や団体に目線が行き過ぎる ・選挙の時だけ頑張っている</p> <p>&lt;人数が多い&gt; ・議員の人数が少し多いかも・人数多い ・定数が多すぎる</p> <p>&lt;議論不足&gt; ・議論が足りない感じ・議会は深く議論する場でない ・議会と市のなれあいを感ずる、セレモニ一的</p> <p>&lt;勉強不足&gt; ・市職員と質問事項の世話になりすぎる ・賭手当があるのに勉強が足りない・勉強不足 ・勉強していない ・なんとなくやさしい ・給料が高すぎる</p>	<p>&lt;観光意識を持つ&gt; ・小樽を知る(街を歩いてみる、観光地を歩いてみる)</p> <p>&lt;市政への参加&gt; ・選挙に必ず行く・意見を言える場にもっと参加する ・気のついたことをやってみる、声に出す ・市役所との協力体制作りをする・出前講座の積極的活用 ・市内観光を市民がもっとするべき ・ボランティア意識の向上</p> <p>&lt;議会をもっとよく知る&gt; ・議会に興味を持つ、報告を読む・議会を積極的に傍聴する ・議員と対話の機会を持つ・議員の勤務ぶりに注意をもっとすべき ・議員の活動に関心をもつ・議会傍聴を積極的にする ・議会にも興味を持つ・議会や委員会に市民がもっと参加をする</p> <p>&lt;町内会活動の充実&gt; ・町内会間の協力・地域のみまわり声かけ運動 ・町内会の活動、集まりに参加する・町会の役員になる ・教育を良くするために学校の実態を良く知る ・地元でお金を使う</p>
市長・職員の役割	議会の役割	市民にできることについての要望
<p>&lt;職員の育成&gt; ・やる気のある、やる気を出す職員の育成・大志をもつ職員をふやす ・職員個々を評価できるシステム(サービス向上のため)</p> <p>&lt;ムダの削減&gt; ・職員の人員削減を進め、市民サービスをもっとよくなる ・税金の効率的使い方(メリハリをつける)</p> <p>&lt;建物再利用&gt; ・空き店舗、空き家のデータベース化・市内中心部に施設を集中 ・廃校の校舎など活用を大いにすべきだ</p> <p>&lt;高齢者に活躍の場を！&gt; ・高齢者を観光にも子供の教育見守りに活用する施策を考える ・海があり10万都市高齢化の国内、国外の情報を知らせてほしい ・高齢者の相互の扶助の仕組みを考える ・人情味のある人材を活かす施策を策定してほしい</p> <p>&lt;専門家の活用&gt; ・まちづくりの外部の専門家を活用する ・観光PRの広告プロを呼びあひアイデアを出してもらう ・市職員と町内会の交流を強く ・小樽で行われる各種(文化活動)大会を毎月の広報で知らせ市民の協力を求める ・商大のサテライトスタジオの場をもっと広め札幌から人を呼ぶ</p>	<p>&lt;議員の素質を高める&gt; ・議会を評価し公表するシステム(機関) ・議会のことで職員にあまり負担をかけない ・なものをわたりをするな、現実を直視せよ・全国都市にもっと学ぶ</p> <p>&lt;議員の若返り定員削減&gt; ・定数を減らす・定年を設ける ・10万都市の議員報酬を比較して広報に載せてほしい ・議員の若返り</p> <p>&lt;市民への報告&gt; ・他都市視察の報告は市民にもしてほしい ・市民への活動報告を義務化する ・支持政党のない市民にも情報を</p>	<p>&lt;対話の場と情報入手をしやすく&gt; ・市長との対話を大きな団体だけでなく一般市民ともする ・市議会主催で市民と議員の対話の場をつくる ・学校を市政報告会の発表の場に活用(複数政党) ・政策審議室のような縦割りでない、横断的な部署を充実させ、よいスタッフを配してほしい ・情報をもっと手にいれやすく</p> <p>&lt;市民が観光に親しめるよう&gt; ・文学館のトイレを観光客がわかりやすいよう知らせる ・小樽郵便局前から駅までの色内通りに市民の買物や休憩の店舗を作る ・観光施設の市民料金の割引(文学館、水族館……) ・(埋もれた)身近な観光資源の評価をする(もっと広くもっとたくさん)</p> <p>&lt;町内会リーダーの育成&gt; ・町内会リーダーの研修を行って育成する</p> <p>&lt;地域に関心を！&gt; ・めんどくでも集まる、参加する ・他者への関心をもつ</p> <p>&lt;予算、お金&gt; ・財政黒字の町にする ・地域の緑化にもっと予算を</p>